

就労支援のための訓練生用チェックリスト 就一-1

氏名: _____ 記入日: _____ 職務内容: _____

領域	No.	1011	内容	評価段階				No.	領域
				4 (できる・ある)	3 (だいたいできる・だいたいある)	2 (あまりできない・あまりない)	1 (できない・ない)		
I 日常生活	1	生活のリズム	起床、食事、睡眠などの生活リズムは規則正しい。(日課の遂行)	生活リズムは規則正しい。	生活リズムはだいたい規則正しい。	生活リズムはあまり規則正しくない。	生活リズムは規則正しくない。	1	I 日常生活
	2	健康状態	健康に気をつけ、自分で服薬管理し、休息がとれ、良好な体調を保っている。	健康状態は良い。	健康状態はだいたい良い。	健康状態はあまり良くない。	健康状態は良くない。	2	
	3	身だしなみ	場に合った服装をし、清潔であるなど身だしなみはきちんとしている。	身だしなみはきちんとしている。	身だしなみはだいたいきちんとしている。	身だしなみはあまり気にしないが、注意されれば改める。	身だしなみはきちんとしていない。	3	
	4	金銭管理	計画的に使う、必要なものを買う、保管するなど金銭管理ができる。	金銭管理ができる。	金銭管理はだいたいできる。	金銭管理はあまりできない。	金銭管理はできない。	4	
	5	交通機関の利用	通学(通所、通勤)に交通機関を一人で利用できる。	交通機関を一人で利用できる。	遅延等の事故がなければ交通機関を一人で利用できる。	交通機関の利用は迷いやすく、自分の間は付き添いが必要である。	交通機関を一人で利用できない。	5	
	6	規則の遵守	規則や決められたことを守る。	規則を守る。	規則をだいたい守る。	規則をあまり守らない。	規則を守らない。	6	
	7	危険への対処	危険と教えられたことをせず、自分の安全を考えて行動する。	危険への対処ができる。	危険への対処がだいたいできる。	危険への対処があまりできない。	危険への対処ができない。	7	
	8	出席(出勤)状況	正当な理由(通院、病気、電車の遅延等)のない遅刻・早退・欠勤はない。	遅刻・早退・欠勤はない。	遅刻・早退・欠勤は月1回ある。	遅刻・早退・欠勤は月2回ある。	遅刻・早退・欠勤は月3回以上ある。	8	
II 対人関係	1	挨拶・返事	相手に応じた挨拶・返事ができる。	相手に応じた挨拶・返事ができる。	きまった挨拶・返事はできる。	相手から挨拶されれば返すことはできる。	挨拶・返事ができない。	1	II 対人関係
	2	会話	会話に参加し、話についていくことができる。	会話ができる。	会話がだいたいできる。	会話があまりできない。	会話ができない。	2	
	3	意志表示	自分の意志(参加したい、トイレ休憩をとりたい、助けてほしい等)を相手に伝えることができる。	意思表示ができる。	意思表示がだいたいできる。	相手や内容によっては意志表示ができない。	意思表示ができない。	3	
	4	電話等の利用	用件を伝えるのに電話、メール、FAXを利用できる。	電話等を利用できる。	簡単な内容であれば、電話等を利用できる。	電話等をあまり利用できない。	電話等を利用できない。	4	
	5	情緒の安定性	感情のコントロールができ、安定している。	情緒は安定している。	情緒はだいたい安定している。	情緒はあまり安定していない。	情緒は安定していない。	5	
	6	協調性	他人と力を合わせて助け合うことができる。	協調性はある。	協調性は普通である。	協調性はあまりない。	協調性はない。	6	
	7	支援の受け入れ	支援の受け入れができる。	支援の受け入れができる。	支援の受け入れがだいたいできる。	支援の受け入れがあまりできない。	支援の受け入れができない。	7	
III 作業力	1	体力	1日(7~8時間)を通して作業ができる体力がある。(座り作業・立ち作業)	1日(7~8時間)の作業ができる。	6時間程度の作業はできる。	半日(3~4時間)の作業はできる。	半日(3~4時間)の作業もできない。	1	III 作業力
	2	指示内容の遵守	指示通りに作業をする。	指示通りに仕事をする。	だいたい指示通りに仕事をすい。	あまり指示通りに仕事をしない。	指示通りに仕事をしない。	2	
	3	機器・道具の使用	作業機器や道具類を教えられた通りに正しく使える。	器具・道具を正しく使える。	器具・道具をだいたい正しく使える。	器具・道具をあまり正しく使えない。	器具・道具を正しく使えない。	3	
	4	正確性	ミスなく正確に作業する。	正確に作業をする。	だいたい正確に作業する。	あまり正確に作業しない。	正確に作業しない。	4	
	5	器用さ	器用に作業する。	器用である。	器用さは普通である。	あまり器用ではない。	器用でない。	5	
	6	作業速度	必要とされる作業速度(指導員の作業速度)がこなせる。	必要とされる作業速度の8割程度である。	必要とされる作業速度の6割程度である。	必要とされる作業速度の4割程度である。	必要とされる作業速度の2割程度である。	6	
	7	作業変化への対応	作業の内容、手順等の変化に対応できる。	作業変化に対応できる。	作業変化にだいたい対応できる。	作業変化にあまり対応できない。	作業変化に対応できない。	7	
IV 作業への態度	1	就労意欲	社会に出て働く意欲がある。	就労意欲がある。	就労意欲は普通である。	就労意欲はあまりない。	就労意欲はない。	1	IV 仕事への態度
	2	質問・報告・連絡	必要な時に適切な質問・報告(作業の終了、失敗等)・連絡ができる。	質問等ができる。	質問等がだいたいできる。	質問等があまりできない。	質問等ができない。	2	
	3	時間の遵守	時間(作業開始時間、締め切り等)を守る。	時間を守る。	時間をだいたい守る。	時間をあまり守らない。	時間を守らない。	3	
	4	積極性	作業に自分から積極的に取り組む。	作業に積極的に取り組む。	作業にだいたい積極的に取り組む。	作業にあまり積極的に取り組まない。	作業に積極的に取り組まない。	4	
	5	集中力	仕事への集中力はある。	集中力はある。	集中力は普通にある。	集中力はあまりない。	集中力はない。	5	
	6	責任感	与えられた作業や当番などは最後までやる。	作業や当番などは最後までやる。	作業や当番などはだいたい最後までやる。	作業や当番などはあまり最後までやらない。	作業や当番などは最後までやらない。	6	
	7	整理整頓	作業場の整理整頓ができる。	整理整頓ができる。	整理整頓がだいたいできる。	整理整頓があまりできない。	整理整頓ができない。	7	

自由記入欄 :

出典 : 障害者職業総合センター
就労支援のためのチェックリスト

西部高次脳機能障害地域支援ネットワークシステム